

技術士試験対策で講習会

水コン協 28年度合格者の体験談も



二次試験のポイントを学んだ

全国上下水道コンサル 東京都渋谷区のけんぼフ
タント協会は4月25日、ラザで平成29年度第1回
技術講習会を開いた。技術士第二次試験(筆記・口頭)の対策を主眼に、試験の概説と受験対策、合格者5人の体験談で構成。約50人が受講し、合格のポイントなどを学んだ。開会にあたり、長尾祥治・水コン協技術委員長が「講師の体験談は、必ず役に立つポイントや試験に合格するためのヒントがあり、モチベーションにつながるものと思っ

ている。講習会が有意義なものとなることを祈念している」とあいさつした。講師の西村秀士・日水コン経営企画本部事業化推進室長は、筆記試験と口頭試験の出題傾向や勉強方法、答案作成上の注意点、問われる知識や能力、試験に臨んでの心構えについて説明した。続いて、28年度の合格者が登壇。上水道部門は、池田春樹氏(日本水工設計)と藤井智範氏(日水コン)、下水道部門は、小間康史氏(NJS)、山際喜弘氏(オリシナル設計)、前川原彩氏(東京設計事務所)が、自身

の体験を交えて受験者にアドバイスした。参加者には、協会ホームページから「過去5年間の問題と過去17年間の選択問題のテーマ一覧、解答例(資料集)」をダウンロードできる特典もある。